

This and That at MISHOP MISHOP News from all activities.

みんなの活動だより

発行: MISHOP広報部会

2018.9

61

三鷹国際交流フェスティバルの 石井実行委員長に聞く

9/23



三鷹国際交流フェスティバルが9月23日に開催されます。今年で29回目。5月に実行委員会が立ち上がり、着々と準備が進められています。実行委員長の石井章夫さんに抱負などを伺いました。

Q 今年はどんなフェスティバルになりますか

A 来年はMISHOPが30周年を迎え、フェスティバルも30回目の記念の年になります。今年も来年に向けて精度を上げ、30回目につなげていきたいと考えています。昨年、初めて来場者が5万人を超えました。今年も事故のないよう、大勢に来ていただきたい。フェスティバルは日ごろ、MISHOPのさまざまな分野で活動している会員やボランティアが一堂に会し、世代を超え、新旧が繋がっていくMISHOPにとって大切な場だと思っています。

Q レイアウトや出店規模は昨年と変わりますか

A レイアウトは昨年と同じで、回遊して楽しんでいただけるようにしました。出店者は約100になります。出店者には販売するだけでなく、一緒にフェスティバルを作り上げていただくようお願いして、4か所のワールドバザールアトラクションコーナーで民族舞踊やクイズ、ゲームなどの催しを提供していただいています。これが定着して、内容も充実してきました。今回も中国の大道芸「変面」やメキシコ、

ペルー、アフガニスタン、バリなどの民族舞踊、キルギスの民族楽器演奏など多彩なパフォーマンスが繰り広げられる予定です。人気のキッチンカーも15台、2か所に分かれて出店します。

Q ステージを楽しみにしている方も多いです

A ステージには市内在住のアルパ(中南米の

ハーブ)奏者、浜根未稀さんが初出演します。MISHOP創設の頃に活躍されていた会員さんで、6月のキック・オフ・ミーティングで表彰されたのをきっかけに、出演していただけになりました。このほかフラメンコ音楽と舞踊、タンゴバンドなど全部で7団体が登場しますのでご期待ください。おなじみのバンドもあります。

Q ボランティアはまだ募集していますか

A 杏林大など近隣大学を中心に学生ボランティアが定着して、力になっています。しかしまだまだ人手はほしい。当日ご協力いただける方は9月11日に開かれるボランティア説明会にご出席ください。一緒にフェスティバルを盛り上げましょう。



熱心に話し合う実行委員たち

An interview with Mr. ISHII, Executive Chairman of the Mitaka International Festival

The Mitaka International Festival will be held on September 23rd. We talked with Mr Akio Ishii of the executive committee about his ambitions for this year.

Q How will the festival be this year?

A Next year MISHOP will celebrate its 30th anniversary and the 30th anniversary festival. This year I look to make something that's already good even better in anticipation of this. Last year, visitors exceeded 50,000 for the first time. I would like to have many, many people come this year as well. I think the festival is an important occasion where MISHOP members and volunteers all come together.

Q Will the layout and scale of stores be different from last year?

A The layout will be the same as last year to allow everyone to make the rounds and enjoy all the attractions. There will be about 100 booths. The four World Bazaar Attraction Corners will feature entertainment such as national dances and ethnic music of different countries.

Q What performers will be on stage?

A An alpa player residing in this city, Ms. Hamane, will appear for the first time.

As she was an active member when MISHOP was established, she received an award at the MISHOP Kick-off Meeting in June—and that led to her performance this time. Seven other groups such as flamenco dancers and Argentine tango performances will also appear.

Q Are you recruiting volunteers?

A Yes! Please attend the volunteer briefing held on September 11th if you can help on the day of the festival.

こ せ かい ぶん か たい けん かい
子ども世界の文化体験会

う た
「みんなで歌おう!

かい さい
ゴスペル」開催

8/25

なつやす こうれい こ せ かい ぶん か
 夏休み恒例のイベント「子ども世界の文化
 たい けん かい う た
 体験会『みんなで歌おう!ゴスペル』の「親
 こ
 子でゴスペル体験ワークショップ」が8月
 に ち み たか えき まえ
 25日、三鷹駅前コミュニティセンターで開
 さい
 催され、100人近い親子が参加しました。

こ とし はつ こころ にち
 今年は初の試みとして、25日のオープニ
 ングコンサートに出演を希望する小学生を対象にした「事前練習ワークショップ」が8
 月4日に開かれ、小学生36人、保護者18人が集まりました。指導にあたったのは
 [URUHAMO]。東京を拠点に主に関東圏で活動しているミュージックエンターテイメン
 トグループで、豊かなハーモニーのゴスペルクワイヤー（合唱隊）とリードボーカルによ
 る演奏が特徴的で、幅広いジャンルの曲を歌っています。

この日練習したのは25日に披露した「A WHOLE NEW WORLD」と「ひまわり
 の約束」の2曲。普通、歌を覚えるには楽譜からと思っていましたが、ワークショップ
 では導入部のリトミック（音遊び）でいきなりゾウやライオンのお面を被ったメンバー
 が登場し、アフリカの土の匂いがステージ一杯に広がりました。そしていよいよ練習。

ソプラノとアルトのメロディーのうち、自分の声に合うパートを選んで練習しました。
 参加した保護者の一人は「いろいろな楽しい“しかけ”を用意していただいてあ
 りがとうございました。子どもたちも楽しそうでした」と話していました。

また小学生の参加者は「ちょっと難しかったけれど、みんなで歌えたことが楽しかつ
 た。本番でも楽しく歌いたいです」と感想を述べていました。こうして事前練習は楽
 しさがあふれる中で終わりました。

25日は、オープニングコンサートに続いて、URUHAMOの指導で、ノリノリで踊れる元
 氣な曲、バラード曲、みんながよく知っている曲などを親子でゴスペル風に歌いました。



Children’s Worldwide Cultural Exchange Program

The “Children’s Worldwide Cultural Exchange Program—Let’s All Sing Gospel Music” was held at the Community Center near Mitaka Station on August 25, with nearly 100 parents and children participating.

As a first attempt this year, a “pre-practice workshop” for elementary school students appearing on the 25th opening concert was held on August 4. Some 36 elementary school students and 18 guardians gathered. Direction was under the members of the music entertainment group “URUHAMO”. This Gospel choir and vocalists sing a wide range of songs from different musical genres. Two songs were practiced on this day, one being “A WHOLE NEW WORLD”. For the soprano and alto parts, participants chose what was most suitable for themselves. The elementary school students in attendance said that it was a little difficult, but they enjoyed singing together. On 25th, under the guidance of URUHAMO, dance songs, ballads, and other well-known songs were sung in gospel style.

Message from the Editors
 へんしゅうしつ 編集室

フェスティバルまで1カ月足らずになりました。28年前に比べてテント
 数、来場者数とも何倍にもなり、多摩地域で最大級の国際交流フェス
 ティバルになりました。大規模なイベントを支えているのは、大勢の市
 民と学生たちです。今年もたくさんの笑顔に出会えますよう、子どもた
 ちに良い思い出を残せよう願っています。

There’s less than a month until the festival. Both the number of tents and the number of visitors have become exponentially larger compared with 29 years ago, making this the largest international exchange festival in the Tama area. This huge event is supported by many citizens and students. Again this year, we look forward to many happy faces and hope that the children who come will leave with wonderful memories.